

2013センターテスト（B・本試験）解説

△は特に易しい、▼はちょっと難しいと思う小問。あくまで個人的感想ですが。

第1問 例年通りテーマ史の会話（「海人」は笑ったけど）で北海道と沖縄。

問1 アは貴重な原始の問題だった。昆布は北海道は一般常識なんだが。甘藷サツマイモだし。

問2 ①室町幕府じゃない。松前「藩」というところで江戸だと気づいてほしいな。

②シャクシャシンの乱が松前藩に勝利する！？

④松前藩は改易ではなく転封。五稜郭に置かれたのは箱館奉行。

△問3 Xは当然択捉、Yは樺太。この地図は間違えたくない。それにしても、去年の追試で近代の日本近隣の地図は出ているのに…。去年出たら今年出ないと決めちゃダメ。

△問4 図というか注を見れば全部書いてある。勉強が生きない愚問悪問。なお、時代が15世紀なんだから「南蛮」にスペイン・ポルトガルは入らない。

問5 a. ペリーは琉球へ立ち寄っている。これは細かいから知らないなら△で。

b. 台湾出兵は日清修好条規より後のこと。

d. 沖縄と北海道は衆議院選挙だけでなく地租改正などすべて遅れた。

問6 ②日米行政協定は在日米軍についての法律だし、平和条約後つまりGHQはいない。

第2問 古代史全般の問題。基本的な史料（今年は倭王武）を出すのも定例化してきた。

問1 bの「銅鐸」がダメ。三種の神器の話をしたはず。3つ目は勾玉。

問2 ①中国の支配って朝鮮出兵じゃあるまいし。

②中国を威嚇って二十一か条要求じゃあるまいし。

③中国からの独立ってチベットじゃあるまいし。

△問3 X. 河内にある仁徳陵古墳・応神陵古墳より大きな古墳は日本に、いや地球上にない。

問4 イ 園城寺は天台宗の寺門派。

問5 Iは仲麻呂、IIは橘諸兄、IIIは長屋王政権。III→II→I。定番。

問6 ②検非違使→勘解由使。これも定番ですな。

第3問 文化を中心にした中世問題。

問1 『選択本願念仏集』は法然。南無阿弥陀仏は念仏。

▼問2 ②延暦寺焼き打ちといえば信長。平家が焼いちゃったのは南都。

③慈円は摂関家出身。関白九条兼実の弟。兄弟そろって幕府派。

④秀衡→泰衡。ミイラも秀衡まで3人は全身で、泰衡は首だけだった。

③が細かいが、①を覚えていたら正解できる。文化史が自学の学校なら厳しい。一応▼。

問3 甲 ヒドイ問題。図をロクに見なくても「右上だから北東」できちゃう。

乙 唯一神道も神仏習合だが、設問A全体が鎌倉時代だからまだ唯一神道はない。

△問4 枕草子って歴史書ですらないですけど、もうちょっとまともな語群を…。

問5 ①は細かいが、②が明らかに×。△の活用！ 基氏は尊氏の子。だって「氏」ですから。

問6 蘭溪道隆も臨濟宗だから栄西の方が古い。栄西が二日酔いの実朝にお茶を薦めて、それで北条政子ら鎌倉幕府と親密になった話とか。Ⅲは戦国時代。

第4問 近世全般の問題。

問1 綱吉は安パイだろう。謝恩使も慶賀使も琉球からだが、「將軍の就任」に対してなんだから謝恩（ご恩に感謝）ではなく慶賀（お祝い）。国語力の問題。

問2 写真は日光東照宮（陽明門）。だから権現造。

問3 読んで中身を理解する必要のある史料問題。今年も近世で出題ですな。読むしかない。

▼問4 マジな表読み取り問題だが知識があれば楽。こういう問題にはきちんと時間をかけること。

①金の成分比は明らかに上下している。 ②元禄小判で40%を越えている。

③新井白石＝正徳の治から正徳小判を見ると、金の成分比は変わらずに重量が変わっている。

この説明は元禄金銀＝荻原重秀に当てはまる。宝永小判も白石ではないかと疑ってしまった人もいるだろうが、それでも重量が変わっているから×で影響はない。

④幕末の貨幣改鑄＝万延小判と知っているかどうか。知らなくても、天保→安政→万延と小判重量は減少を続けているので○と判断できるはず。

問5 実は3つとも家斉治世。Iの寛政の改革は初期、Ⅲは化政期の政治的退廢の象徴、Ⅱの大塩の乱は家斉の最後の最後。授業で最近やったから、その順序を「なんとなく」覚えていたら…。

▼問6 Yは国後島が細かい。ちょっと酷。

第5問 近代のテーマ史の問題。人物シリーズはなくなった。予想マンモス大外れ。しかし特許制度がテーマだが、「特許って何？」という人でも何の支障もないのだが。

問1 福沢→西洋事情もガラ紡→臥雲辰致も基本的。

問2 ②大隈重信→松方正義。 ③治安維持法は大正末。

④造船奨励法は明治だが国有化ではない。細かいが、①が明らかに○だから大丈夫だろう。

問3 a 富岡製糸場はフランスの技術で群馬。

d 綿糸の生産が輸入を上回ったのは1890年。cとともに日清戦争前後。頻出！

問4 X 日英通商航海条約調印は日清戦争開始と同じ1894年。月も同じ。これを覚えていれば。

Y 表を見ると、農具・点灯具・文具・織機・養蚕具。文具が武器なのは…（笑）。

第6問 近現代総合問題。

問1 アはともかく、イ（帝国在郷軍人会）はちょっと酷。たが、1910年という年代があるから大政翼賛会でないことは分かる。

問2 Y ここは第一次山本権兵衛内閣。それでは大正政変の意義が…。米騒動直後なら原敬内閣。

問3 ①国際連合は第二次大戦後。 ②九カ国条約→四カ国条約。

④バンドン会議は第二次大戦後だし、そもそも「列強」の会議ではない。

問4 b この説明は占領下の復興インフレのこと。だいたい恐慌＝不景気で、デフレの方向。

d 在華紡は第一次大戦前後で習ったはず。日中戦争にともなって作られたのではない。

問5 ①内村鑑三が参拝を拒んだのは教育勅語。 ②滝川幸辰は法律学者。

③北村透谷はロマン主義を主唱した明治の評論家。

問6 この地域の地図も去年の追試で出ている。過去問練習って大事ね。

X 重慶。a是北京だろう。内地で攻撃できないから空爆したのに…。

Y シンガポールの華僑虐殺。cはベトナム＝フランス領(仏印)だから。

▼問7 ①講和条約で分裂したのは社会党。また日本労働組合総連合会は現在の「連合」。

②河合栄治郎は思想弾圧を受けた経済学者。ちょっと細かい。直すなら南原繁。

④社会民衆党は戦前の無産政党。直すなら社会党や共産党。

問8 ④第4次中東戦争は石油危機の原因だから1970年代。自衛隊派遣は湾岸戦争後。

【全体として】

(1) 大問の割り振り、小問の配点など、ほとんど去年通り。というか例年通り。

(2) 地図が2つとも近代で出たのは、去年の追試のまんま。

(3) 図版問題は識別型(日光東照宮)と考察型(紀伊国杵田荘絵図)。少なめ。

(4) 史料問題は、古代史に定番だけど考察型出題の史料、近世史に初見の考察型史料で、これも最近数年間のパターンどおり。

(5) 人物シリーズをやめるとは思わなかった。

(6) 解答番号で3連続があった。

(7) 今年も原始と戦後は少なかった。

(8) 難易度だが、去年は△4▼6で65点と予想したら68点もあった。今年も△4▼4なので、さすがに去年よりは下がるだろうが、例年なみの65点に落ち着くんじゃないかと思う。

ここ数年で最も難しいという声も聞かれるが、そうは思えない。那覇港と杵田荘のしょーもない問題(見れば分かる的な)で点を稼げる。グローウニンの国後島、全面講和の河合栄治郎、慈円は皇族じゃない、くらいが無茶なくらいで、全体的によくできた良問だと思う。

手前味噌だが、火曜の近代史速講や年末年始のセンター対策補習に出たり、その資料にきちんと取り組んだ人はラッキーだったんじゃないかと思う。3学期の授業からも結構出てたし。